

第 3 回県央地区病院情報連絡会結果概要

日時：令和 8 年 1 月 19 日(月)19：00～21：00

場所：神奈川工科大学 IT エクステンションセンター会議室

1 新たな地域医療構想の策定に向けて

- 医療企画課より、新たな地域医療構想の策定に向けた令和 8 年度のスケジュール案について説明。
- 主な意見は次のとおり。
 - ・ 厚木市では、現在三師会が中心となり医療と介護の連携に向けた検討を進めており、市はオブザーバーとして参加しているのみだが、今後入院医療、外来・在宅医療、介護の連携を進めていくためには、市が中心となって新たな会議を設置し、病院、医療法人、関係施設等が参加してしっかりした検討体制を作ることが必要ではないか。
 - ・ そうした体制づくりを県がどのように主導するのか、県の会議をどのように整理していくのかが重要ではないか。

2 かかりつけ医機能報告制度について

- 医療企画課より、かかりつけ医機能報告制度の概要や今後の取組内容等について説明。
- 主な質疑として、報告の主体（⇒医師ではなく医療機関単位）、研修の位置付け（⇒医師会の研修を受けていなくても報告できるが医師会から研修を受けた場合積極的にその旨回答してほしい）、報告期間の設定理由（⇒県のとりまとめ作業に期間を要するため）、今後の議論スケジュールや場（⇒8 月以降に結果取りまとめ。各地域の調整会議をベースに県在宅医療推進会議も検討）などがあった。

3 病院の事業承継に伴う病床の取扱いについて

- 医療企画課より、病院の事業承継に伴う病床の取扱いについて説明。
- 主な質疑として、事業承継の新たな取り扱いにおける更なる機能変更や増床の禁止期間（⇒一定期間は行わないこと）、経営母体が変わったことは事業承継に当たるか（⇒法人は変わらず経営陣が変わった場合は当たらない）などがあった。

4 地域医療構想 病床機能変更 2025 プランについて

- 厚木保健福祉事務所より、2025 プラン（東名厚木病院、愛光病院、相武台リハビリテーション病院）について説明。
- 主な意見は「参考資料 2」のとおり。

5 病床数適正化支援事業に伴う病床削減について（報告）

- 厚木保健福祉事務所より、病床数適正化支援事業の概要について説明。
- 当該事業に伴い、既存病床数が変更（減）となった。